



秋田杉による和風小屋組みで建築された食事施設



施設内で行われた郷土料理のコンテスト



秋田杉やヒノキ材を主に建築された黄桜温泉ホール

DATA・BOARD ⑤

- ① 秋田県由利郡東由利町老方字畑田
- ② 延床面積：6,102㎡
- ③ J R 羽越本線羽後本荘駅からバスで老方下車・徒歩5分、秋田自動車道横手 IC から車で約45分
- ④ 八塩自然休暇村
- ⑤ ふるさとの味チャリティバザール、あきたこまちと由利牛の里フェア、サンタフェスティバル



5 陸の灯台 “黄桜の里”



東由利町は秋田県の南西部にあり、内陸部の横手市と日本海側の本荘市のほぼ中間に位置しているが、道路は山間部を縫うように走っており、目印となるような建築物や民家が少ないことから、寂しい道路としてのイメージがあった。

こうした地域のイメージを払拭するため、国道通行者に食事や休憩、地場産品の提供や案内を行うとともに、地域住民の休養や買い物などの生活利便機能を集約整備したものが「陸の灯台・黄桜の里」である。

主な施設としては、温泉保養施設、食事などを提供する施設、地域の特産品を販売する地場産業センター、簡易パーキングなどがあり、施設の象徴であるシンボル塔である陸の灯台が道標となっている。

このように地域住民の生活利便機能と国道通行者のサービス機能が融合することにより、住民と来訪者の交流が創出されているほか、地域の文化や産業などの情報発信地としての役割も担っている。

なお、施設の名称の選定については一般公募を行い、町民いこいの森に美しい黄色の桜が植えられていることから、命名されたものである。